

03 犠牲となられた方々への追悼 ～多賀城市東日本大震災モニュメント～

平成27年3月施工

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で起きた大津波により、宮城県多賀城市では地域の3分の1が浸水し、188名もの市内外の方々の尊い命が犠牲となりました。

犠牲となられた方々への追悼、震災の経験と教訓の伝承、減災への誓い、を趣旨としたモニュメントの一般公募「多賀城市東日本大震災モニュメント設置業務委託に係る公募型プロポーザル」において、弊社案を御採用いただきました。



モチーフとした多賀城碑と覆屋

ここ多賀城市には日本三大古碑の一つとされる「多賀城碑」があり、国府があった多賀城の多賀城創建を現代までも伝え続けています。

この多賀城碑のように、永く震災の経験と教訓を伝える「記憶の伝承」モニュメントとなるようにとの思いを込めてデザインしました。



モニュメントと案内板

設計金額
モニュメント：¥15,000,000-
案内板：¥3,200,000-

サイト担当者
デザイン・設計：岡松
営業：古川

発注元：多賀城市役所

設置場所：宮城県多賀城市



モニュメント全景



観音開きの扉を開けた状態

モニュメントの中心にある円筒形の部分は多賀城碑を覆う覆屋（おおいや）をモチーフとしたもので、高さは本市における津波の最大浸水高4.6メートルと同じ高さとしています。

また、格子によってできる四角形の数、188個で、本市でお亡くなりになられた方の人数と同数となっています。

円筒形の部分を覆う2つのアーチは、震災の記憶を世代を超えて時を超えて、途切れることなく次へそしてまた次へと確実に伝えていくことへの願いを表現しています。

モニュメントの円筒形の部分の一部は観音開きの扉となっており、お亡くなりになられた方々のお名前がステンレスのプレートに刻銘され、内部に格納されています。

材質
モニュメント＜サイズ：H7000×W4000×D4000＞
ステンレス磨き/ウレタン樹脂塗装仕上げ
白/グレー系御影石
ステンレスエッチングプレート

案内板＜サイズ：H2100×W1760×D100＞
ステンレスウレタン樹脂塗装仕上げ
白御影石
セラステン（サイズ：1200×900）
※両面表示

04 平川動物公園アフリカの草原ゾーン

平成22年3月施工

2009年から始まり2015年度までの7年間、リニューアル工事を行っている鹿児島県平川動物公園。生態系展示を主とした整備を行っています。ゾーンごとの整備が毎年度行われており、今回はアフリカの草原ゾーンのハンズオンサインを紹介します。

シェルター内にはアフリカのサバンナで生きる動物たちをわかりやすくイラストと文言で紹介。手前には子供たちに触って学習してもらえるハンズオンサインを施しました。

取付はオールアンカーをコンクリート壁に固定してイペ（ハードウッド）で化粧。半屋内ですので表示面の劣化が少ない為インクジェット印刷で施工しました。



キリンの舌の長さがわかるように上下可動式にしました。素材は質感を少しでも伝えたく、ゴム系樹脂造形。分かりやすく言うと塩ビのゴム人形です、くちびるはFRPで製作。



フラップ式のハンズオンサイン。シマウマは群れをなす動物で、単独での行動は敵に襲われやすいことが分かるサインです。



実際のサイの角は皮膚が変化してできたもの、こちらはFRPです。



フラップを上げるとカバの全体が見えます。水の中では目と鼻を出して過ごします、FRPで製作。



ダチョウの卵と、にわとりの卵の大きさを比べています、こちらもFRPで製作。

材質
サイン本体 ハードウッドイペ材＜サイズ：H1378×W2600×D340＞
表示面 インクジェット印刷、各種造形物、FRP、ゴム系樹脂材

設計金額：¥3,300,000-

発注元：鹿児島市役所
設置場所：鹿児島県鹿児島市

サイト担当者

デザイン・設計：小笠原
営業：山本



全体サイン全景



キリン用餌箱(ウインチ式)



ゾーンサイン全景



動物名サイン